

ワケ カタチには理由がある(1/1)

Shape follows Function & Taste

～スキャメル・パイオニア戦車輸送車

(Pioneer Tank Transporter)



クルセダー戦車を載せた状態↓



同じボディを使ったレッカー車との比較↓



スキャメル社の6輪駆動車をトラクターとして製造した戦車輸送車です。特徴は、エンジンの駆動力を使った強力なウインチによって、積載車輛をトレーラーに引っ張り上げるメカを有していることで、荷台が傾斜しているのはこの構造に拠るものと思われます。さて、運転席横の黄色い円形プレートには「55/18」の表示があります。これは英国軍の橋梁分類で、55はトレーラーの分類を、18はトラクターの分類を意味し(重量tの意味?)、重量制限ある橋梁の通過可否を示します。この話で思い出すのは『サンダーバード』14話「火星ロケットの危機」(搭乗員を載せた宇宙ロケットが、重量オーバーで輸送車両ごと橋梁から水中に転落する)で、さすが英国、このプロットの発想はここから来ているのではないかと思います。

【模型について】

ポーランドIBG製の1/72インジェクションキットで2021年リリースのキットです。なお、半世紀以上、エアフィックス社1/76のキットしかなかったのですが、本車両は、この古典的名キット抜きには語れません。同キットはマックス模型1/35のドラゴンワゴンとともに、ザクトレーラー、ダグラム輸送車、パトローバー輸送車など輸送車両が登場するアニメのオタク思考(飛行移動するジャイアントロボやマジンガーZの世界とは一線を画す)に、ボディーブローのように効いたのではないかと想像しますw。 (中川裕幸 2024年9月)

